

## 僕の故郷ポカラ(ネパール)

ガウタム バラトラジュ

もしカトマンズがネパールの文化の中心だとしたら、ポカラは冒険の中心である。穏やかな自然に囲まれた静かな盆地にあるこの魅力的な町、ポカラはネパールのトレッキングのメッカであり、最近、川下りも盛んになってきた。フェワ(Phewa)湖の岸边には、ホテルやレストランがたくさんあって、トレッキングを楽しむ人たちがバーやレストランに集まって、おすすめのゲストハウスや、ヒマラヤのふもとで見てきた景色について、おしゃべりに花を咲かせている。ポカラは第一級の観光地なのだ。

ポカラはまた他にはないユニークな美しい自然に満ちた所でもある。穏やかなフェワ湖、その向こうにそびえる魚の尾びれの形をしたマチャプチャレ(Machhapuchhre)(6,977 m)。湖面に映るマチャプチャレの姿は、平和なまた



魔法にかけられたような気分を醸し出す。ポカラの標高はカトマンズより低いので、亜熱帯的な自然がある。従って、花々も見ることが出来る。確かに、周囲には、豊かな緑の森があり、澄んだ水がほとばしる川があり、エメラルド色に染まった湖があり、そしてもちろん、世界に誇れるヒマラヤの峰々が間近にそびえ立っているのだ。

**アンナプルナ連峰** ポカラを訪れた誰もが間違いなく驚くのは、北側に広がるアンナプルナ連峰のパノラマであろう。目に入る限り、東から西まで広がるアンナプルナ連峰にはアンナプルナ第一峰から第四峰までとアンナプルナ・サウスの峰がある。その中で一番高いのはアンナプルナ 1 (8,091 m)であるけれど、最も目立つのは、マチャプチャレである。空中に浮かびあがるような魚の尾びれの形をしたピークは、おそらくこのような峰の原形ともいえるだろう。エヴェレスト航空では空からの眺望を楽しみたい人たちのために、西部ヒマラヤのマウンテン・フライトを運行している。おすすめである。



**フェワ (Phewa) 湖** ネパールで二番目に大きいフェワ湖は、ポカラの観光の中心といってよい。ポカラを輝かせている三つの湖の中でやはりフェワ湖が一番魅力にあふれている。景色を楽しむだけでなく、ボートをこいだり、ヨットに乗ったり、また湖の中の小島にある寺院に行って楽しむことができる。東側の湖岸の周辺はレイク・サイドあるいは地元の言葉でバイダム

(Baidam) と呼ばれているが、観光客のメッカとなっていて、ホテルや、ゲストハウス、みやげ物店などがたくさんあり、観光客を集めている。

### **セティ・ガンダキ (Seti Gandaki) 川**

ポカラにある自然の驚異の中で、セティ・ガンダキ川も見る者を驚かさずにはいない。ポカラの市街を縦断しているこの川は、固い岩盤を刻んで流れている。その流れの激しさもさる事ながら、一部は完全に地下に潜って流れている。また、ある所では幅が2メートルほどしかないが、その深さは20メートル以上にもなっている。マヘンドラ・プル市街にある橋からは、その荒々しい流れと、長年にわたって水が刻んだ鋭い谷を良く見ることができる。

## 僕の故郷ポカラ(ネパール)

もしカトマンズがネパ  
ールの文化の中心だと  
したら、ポカラは冒険  
の中心である。穏やか  
な自然に囲まれた静か



な盆地にあるこの魅力的な町、ポカラはネパールのトレッキングの  
メッカであり、最近では、川下りも盛んになってきた。フェワ(Phewa)  
湖の岸边には、ホテルやレストランがたくさんあって、トレッキン  
グを楽しむ人たちがバーやレストランに集まって、おすすめのゲス  
トハウスや、ヒマラヤのふもとで見てきた景色について、おしゃべ  
りに花を咲かせている。ポカラは第一級の観光地なのだ。

ポカラはまた他にはないユニークな美しい自然に満ちた所でもある。  
穏やかなフェワ湖、その向こうにそびえる魚の尾びれの形をしたマ  
チャプチャレ(Machhapuchhre)(6,977 m)。湖面に映るマチャプチ  
ャレの姿は、平和なまた魔法にかけられたような気分を醸し出す。  
ポカラの標高はカトマンズより低いので、亜熱帯的な自然がある。

したが 従<sup>したが</sup>って、花々<sup>はなばな</sup>も見る事ができる。確かに、周囲<sup>しゅうい</sup>には、豊かな緑<sup>ゆた</sup>の森があり、澄<sup>す</sup>んだ水がほとぼしる川があり、エメラルド色に染ま<sup>そ</sup>った湖があり、そしてもちろん、世界<sup>ほこ</sup>に誇れるヒマラヤの峰々<sup>みねみね</sup>が間近<sup>まぢか</sup>にそびえ立っている。

アンナプルナ連峰<sup>れんぼう</sup> ポカラを訪<sup>おとず</sup>れた誰もが間違いなく驚くのは、北側に広がるアンナプルナ連峰<sup>あんなぷるなれんぼう</sup>のパノラマであろう。目に入る限り、東から西まで広がるアンナプルナ連峰にはアンナプルナ第一<sup>だいいちみね</sup>峰から第四<sup>だいよんみね</sup>峰までとアンナプルナ・サウス<sup>みね</sup>の峰がある。その中で一番高いのはアンナプルナ 1 (8,091 m) であるけれど、最も目立つのは、マチャブチャレである。空中に浮かびあがるような魚の尾<sup>お</sup>びれの形をしたピークは、おそらくこのような峰の原形ともいえるだろう。エヴェレスト航空では空からの眺望<sup>ちょうぼう</sup>を楽しみたい人たちのために、西



部ヒマラヤのマウンテン・フライトを運行している。おすすめである。

フェワ (Phewa) 湖 ネパールで二番目に大きいフェワ湖は、ポカラ

かんこう ちゅうしん ぽから かがや みつ みずうみ  
の観光の中心といってよい。ポカラを輝かせている三つの湖  
なか ふえ わえびす いちばんみりょく けしき  
の中でやはりフェワ湖が一番魅力にあふれている。景色を楽しむ  
だけでなく、ボートをこいだり、ヨットに乗ったり、また湖の中の  
こじま じいん いってたのしむ ひがしがわ こがん しゅうへん  
小島にある寺院に行き楽しむことができる。東側の湖岸の周辺  
れいく さいど じもと ことば ばいだむ Baidam  
はレイク・サイドあるいは地元の言葉でバイダム (Baidam) と呼ば  
れているが、観光客のメッカとなっていて、ホテルや、ゲストハウ  
ス、みやげ物店などがたくさんあり、観光客を集めている。

## セティ・ガンダキ (Seti Gandaki) 川

ポカラにある自然の<sup>きょうい</sup>驚異の中で、セティ・ガンダキ川も見る者を  
驚かさずにはいない。ポカラの<sup>しがい じゅうだん</sup>市街を縦断しているこの川は、<sup>かたい</sup>固い  
<sup>がんばん きざん</sup>岩盤を刻んで流れている。その<sup>はげ</sup>流れの激しさもさる事ながら、一部  
は完全に地下に<sup>もぐっ</sup>潜って流れている。また、ある所では幅が2メートル  
ほどしかないが、その深さは20メートル以上にもなっている。マ  
<sup>しがい</sup>ヘンドラ・プル市街にある橋からは、その<sup>あらあら</sup>荒々しい流れと、長年に  
<sup>みず きざんだするどいたに</sup>わたって水が刻んだ鋭い谷を良く見ることができる。